

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科		
科目名称 [英語名称]	からだと疾病実習 I [Experimental Medicine I]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	
科目コード	307300	授業形態	実習	単位数	1	配当学年	2年次
教員氏名	小川 恒夫			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP3(2)		
授業概要	<p>本実習の目的は解剖生理学の知識を定着させる事と、医療機関で行われる検査を理解する事です。からだと疾病 I、II の座学では教科書やプリントで解剖学や生理学を勉強しました。臓器は立体的なもので教科書やプリントでは理解しにくい部分があります。人体模型や顕微鏡を使うことによって理解を深めてもらいたと思います。また尿検査や血糖測定検査など医療機関で行われる検査を実際に体験する事により、検査の目的や結果の評価の仕方を学んでもらいます。</p> <p>実習で学んだ知識が医療現場でどのように役立つかを、病院での実務経験のある教員による説明を受けながら実習を行ってもらいます。</p>						
関連する科目	<p>本授業の履修前に受講することが望ましい科目: からだと疾病 I・II 本授業の履修後に受講することが望ましい科目: からだと疾病実習 II、臨床医学 II、臨床栄養学 I～IV</p>						
授業の進め方と方法	<p>2～6回目: 最初に実験の概要を説明し、実験を行い、課題を解決する。 7～10回目: 人体模型をスケッチし、それぞれ人体の部位などをスケッチに記入する。その後、その週の課題を暗記し、教員の面接を受け課題が正しく理解・暗記されているか確認する。 11～14回目: 顕微鏡で観察するポイントの説明を聞き、顕微鏡を観察する。その後スケッチし、必要な医学用語をスケッチに記入する。最後にその週の課題を暗記し教員の面接を受け、課題が正しく理解・暗記されているかを確認する。 教科書だけだとわかりにくい部分があると思われるので、1年生の時に理解できていなかった部分を今回の実習で、理解するようにする。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習の注意 2 末梢血液検査 3 尿検査 4 ギムザ検査による血液の顕微鏡観察 5 赤血球浸透圧実験 6 糖尿病の病態について 7 人体模型を使った実験(骨) 8 人体模型を使った実験(心臓) 9 人体模型を使った実験(脳、頭部) 10 人体模型を使った実験(泌尿器) 11 顕微鏡を使用した組織観察(骨・甲状腺) 12 顕微鏡を使用した組織観察(唾液腺) 13 顕微鏡を使用した組織観察(胃) 14 顕微鏡を使用した組織観察(小腸) 15 まとめ レポートのチェック 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 1～6回目で行っている実験内容を理解し、それが疾患の診断にどのように重要なかを理解する。【知識・理解の獲得】 ② 7～14回目で1年生で学習した内容を、模型または顕微鏡を使った実習で理解を深める。【知識・理解の深化】 						
授業時間外の学修	<p>【予習】次の授業内容について教科書、1年生のプリント、実習のプリントを読んで来ること。(1時間程度) 【復習】その日に実習で勉強した内容を教科書やプリントを見て確認すること。(1時間程度)</p>						
課題に対する フィードバック	レポート、スケッチを採点后返却します。	評価方法			<p>実習中のスケッチ(60点) レポート(30点) 実習態度(10点) を総合して行う。 実習は出席することが大切なので、欠席は減点となるので、欠席しないように注意すること。</p>		
テキスト	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版						
参考書	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論 I 各論 II 南江堂						
備考							